

第6回

大阪市図書館フェスティバル開催

平成15年10月25日(土)～11月16日(日)

図書館フェスティバルは、読書週間(10月27日～11月9日)にあわせ、平成10年秋から始めました。言葉が持つ魅力、「読書」や「図書館」の楽しさを体験していただこうと、著名な作家の方々にご講演いただいたり、室内合奏団の楽しい演奏や古典芸能についてのお話と実演など多彩なプログラムを実施してきました。特に好評の図書館での利用を終えた本をお譲りする「本のバザール」は第1回から、また、たくさんのボランティアの方々に御協力いただく「としょかんこどもフェスティバル」は第2回から開催しています。

今年は、西条八十に「若き童謡詩人の巨星」と称賛されながら、26歳の若さで世を去った金子みすゞの生誕100年を迎えます。そこで11月8日(土)午後2時から、「昭和初期に消えた幻の童謡詩人」であった金子みすゞの甦りに尽力された作家の矢崎節夫さんの講演の後、矢崎さんと児童文学者のあまみきみこさんの対談、11月9日(日)午後2時から、1984年からみすゞの詩に曲をつけて歌ってこられた吉岡しげ美さんのコンサートを開催します。「鈴と、小鳥と、それから私、／みんなちがって、みんないい。」(「私と小鳥と鈴と」より)など、やさしくて、ずっと忘れられない詩を残したみすゞの世界を、みすゞに深く魅せられた方々に紹介していただきます。また、11月3日(祝)午後2時から、谷川俊太郎の絵本を音楽物語にした「ほうすけのひよこ」など、現代日本を代表する作曲家、林 光が子どもたちのために作曲した楽曲を、ソプラノ歌手中川保子さんを中心とした声楽家の方々に歌っていただきます。

一方、地域図書館においても、講演会〈「金子みすゞへの旅」講師：島田陽子さん〉(旭図書館)や人形劇、工作教室など、さまざまな催しを行います。

ぜひ、この機会に各大阪市立図書館の催しにご参加ください。お待ちしております。詳細は、「第6回大阪市図書館フェスティバル」のチラシをご覧ください(各図書館に置いています)。



ニュース

- ・ハンブル・中国語資料の検索可能に 2P
- ・新住吉図書館等の建設 公用設計競技で 2P
- ・韓国公共図書館員来館 3P
- 大阪市史編纂所だより 3P

シリーズ図書館めぐり

- 図書館利用者講座 4P
- ・予約資料があなたの手元に届くまで 5P
- ・あなたの疑問にお答えします 5P
- イベントコーナー 6P

CONTENTS

インターネットやOMLISから ハングル・中国語の資料が検索できます!



生野図書館の韓国・朝鮮コーナーや、中央図書館の外国資料コーナーを中心に、大阪市立図書館ではハングルや中国語で書かれた資料を提供しています。昨年の秋より生野・中央の両図書館にハングル・中国語検索の専用端末を設置しました。さらに、本年7月1日からは、インターネット上でもハングル・中国語の蔵書検索ができるようになりました。図書館ホームページのハングル版及び中国語版からもご利用になれます(Webブラウザでハングルや中国語を表示したり、入力できる設定が必要です)。

画面の説明などもハングルまたは中国語表示しており、検索のほか圖書の貸出予約や返却期限の延長など、日本語版と同じ機能をご利用いただけます。

インターネット上でのハングルや中国語資料の検索機能の提供は、政令指定都市立の図書館では初めての試みとなります。



大阪市の図書館ホームページ	http://www.oml.city.osaka.jp
ハングル版	http://www.oml.city.osaka.jp/korean/
中国語版	http://www.oml.city.osaka.jp/chinese/

新住吉図書館等の建設 公開設計競技で…

図書館では地域館の移転建替えを進めておりますが、平成15年度予算では新たに住吉図書館の調査費が認められました。

これは、住吉区の区役所や区民ホール等の老朽化のため、「(仮称)住吉区複合施設」として移転・建替えをすることとなり、図書館もこの計画に参画します。

現在のそれぞれの場所から沢之町公園のある街区内に移転・建替えし、街区全体が地域コミュニティ活動の拠点としての役割を担うよう、複合施設と公園を一体的な構想のもとに整備しようとするものです。

建替えにあたっては、公園のある街区内に建設するという恵まれた敷地条件を生かし、区民に親しまれる豊かな空間として、また文化・交流の場として整備していきたいと考えています。

このため、建築計画案や公園のアイデアを広く求める公開設計競技を行っています。

平成16年2月上旬頃には、公開設計競技の結果も決まり、いよいよ平成19年度完成をめざして進めていくこととなります。



あいついで韓国公共図書館から調査団来館

7月10日には大韓民国京畿道立図書館から6名の方が、また、8月10日には大韓民国全羅북도全州市立図書館から5名の方が、ともに新しい図書館建設にあたり、先進的な図書館として本市の中央図書館に調査のためにあいついで来館されました。ともに館長訪問の後、韓国語ビデオによる中央図書館紹介を視聴していただきました。その後、調査団からは利用しやすい書架配置や管理運営システム、また障害を持つ人への対策など多くの質問があり、これまでの経験を踏まえて問題点や、苦労話など、意見交換を行うとともに、各階の閲覧室を熱心に見学されました。

調査団からは、韓国語によるビデオ視聴であったこと等もあり、理解しやすかったと非常に喜んでいただきました。

韓国の図書館では、その利用の多くが学生であるのに対し、本市中央図書館ではお年寄りから幼児まで、幅広い年代の市民が多数利用されていることに驚かれ、また、ビデオ・CDがあるAVコーナーなども興味をもって見学されていました。



西淀川図書館読書会300回を迎える



昭和53年1月17日に第1回の読書会がスタートしてから25年、今年6月15日の開催で第300回目を迎えることができました。



この間とりあげた300冊のテキストを見ますと、実に様々な作品を読み継いで来たこと、またそのリストが25年のそれぞれの時代を反映していることに感動します。

300回記念の読書会は特別に「父の背中」の著者、藤田富美恵先生にご参加いただいて開催しました。秋田実氏を父に持つ先生から創作にまつわる苦労話や、ご家族の話を伺うことができました。

西淀川図書館読書会は毎月第3火曜日の午前10時30分から正午まで、年1～2回の文学散歩も行っております。参加者の中には25年続けられてこられた方もおられますが、入れ替わりながら毎回10人前後の方が集まっています。これからも、楽しく続けて行きたいと思えます。

大阪市史編纂所

市史編纂所では、平成15年度から『新修大阪市史(史料編)』全22巻の編纂を開始します。今年度は、第1巻『考古資料編』の刊行に向けての準備を進めていますが、この他、普及事業として7月5日(土)～7月30日(水)には、企画展示「道頓堀四百年～盛り場を昔に戻す はしひとつ～」を中央図書館1階エントランスギャラリーで開催しました。今回の展示では、芝居小屋閉鎖や法善寺横丁被災という中で、一日も早い「賑わいの町」の姿を取り戻して欲しいという願いを込めてテーマにとり掲げました。香り高い大阪文化を発信してきた「道頓堀」の歴史を関係者の協力を得て、資料やパネルを展示し好評を得ました。この展示が、これからのまちづくりに活かしていただければ幸いです。

この一環として、市史紀要『大阪の歴史』62号では道頓堀を特集として組んでおり、定価700円にて発売中です。購入希望の方は、当編纂所までお問い合わせください。

なお、当編纂所ではホームページを開設しています。主な内容は「大阪市史編纂所とは?」「刊行物案内」「古文書の整理と調査」です。一度ご覧になってください

ホームページ

<http://www.oml.city.osaka.jp/hensansho/>

お問い合わせ・・・大阪市史編纂所

TEL/06-6539-3333 FAX/06-6539-3330

予約資料があなたの手許に届くまで



読みたい本や、ビデオ・CDが貸出中であつたり、書棚に見当たらない時は、予約を付けていただいています。今回はそれらの資料が、皆様の手元に届くまでの仕組みを紹介させていただきます。

1
予約受け付け

図書の予約は、図書館内にあるコンピュータ端末「OML I S」やインターネット・携帯電話サイトから、利用者ご自身で行うことができます。雑誌は発行月の2カ月前から予約を受け付けています。お一人30冊まで予約ができます。雑誌や視聴覚資料、およびまだ所蔵していない新刊図書等については、「予約カード」に記入して係員に提出していただきます。

2
予約本の確保

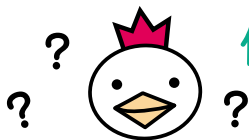
貸出中の資料は返却時に、予約された方のために取り込みます。貸出中でない資料は、係員が書棚を探して取り置きします。中央図書館では毎日2千冊以上の予約リストを持って係員が書棚を探しています。ご利用の図書館以外の図書館が所蔵している資料や他の図書館に返却された資料は、全館を巡回している連絡車でそれぞれ予約された図書館に運びます。大阪市立以外の図書館が所蔵している資料は、郵送等により取り寄せます。また、新刊書等については、購入手続きを経て資料が貸出できるように装備ができてから取り置きします。

3
取り置き連絡

取り置き棚に予約者の五十音順に並べて、貸出ができる状態になってから、予約資料の準備ができたことを連絡します。メールアドレスを登録している方にはメール発信します。それ以外の方には原則として電話で連絡します。中央図書館の場合は、毎日1千件以上の取り置きがありますので、来館時に連絡する手段のない方から順番に電話連絡をしています。現在、予約者の40%がメール連絡の登録をされています。連絡が付いた日の翌日から7開館日が取り置きの期限です。これを過ぎて取りにこれない場合は、次の予約者にお返しします。

4
貸出

予約された図書館カードの登録館の貸出カウンターで予約資料を貸し出します。中央図書館では、地下1階が予約のセンターになっています。次に予約の付いている資料は、貸出時にお渡しするレシートに「*」印を付けています。次に予約がある場合は貸出期間の延長はできません。

他県立の図書館が所蔵している本を
借りられますか

あなたの疑問にお答えします!

市立図書館に所蔵のない本で、他の都道府県立図書館等に所蔵がある場合、一定の条件のもとで図書館間で協力体制をとり、郵送等による本の貸出を行っています。これを「相互貸借」とか「協力貸出」とよんでいます。

その条件とは

- ① 図書館によっては借りられる資料が限定され、全ての資料が対象にはなりません。例えば、出版年が何年以前のものとかが、逆に新刊本とか、また貴重書など、制限される資料があります。
- ② 借り受けはできるが閲覧制限のある場合もあります。国立国会図書館から借り受けた資料のように館内閲覧のみで、貸出はできません。
- ③ 著作権法により、他の図書館から借り受けた資料は複写することはできません。(著作権法31条1)
- ④ 借り受けできる期間は、往復の郵送にかかる日数を含め、通常約1カ月です。
- ⑤ 基本的には往復の郵送料は全て利用者の全額負担となります。ただし、国立国会図書館から借り受ける場合は、返却分のみの負担です。大阪府立図書館から借り受ける場合は、連絡車を運行していますので郵送料はかかりません。最寄りの図書館が窓口となりますので、詳しくはそちらへお問い合わせください。



イベントコーナー

■下期の主な予定 [平成15年11月～16年3月]

図書館での今年度下期の主な開催予定のイベント等は次のとおりです。
日程など詳細は、大阪市広報、インターネットの図書館ホームページ、ポスター、パンフレットなどでお知らせしますのでご確認ください。

・中央図書館

- 10月25日(土)～11月16日(日) 第6回図書館フェスティバル
 - 11月10日、17日、12月1日、8日 古文書講座中級編*
15日の月曜日
 - 11月29日(土) 子ども会(人形劇、お話等)
 - 12月3日(水) 大阪市青少年読書感想文コンクール表彰式
 - 12月21日(日) ピアノと朗読を楽しむ～元永定正さんの絵本から～
 - 1月～3月 国際交流フォーラム
(身近な国際交流について講演や音楽等を通して考える催し)
 - 古文書講座(初級編)
 - 大阪市青少年読書感想画コンクール表彰式
 - 大阪市音楽団による室内楽コンサート
-
- 1月24日(土) } 子ども会(人形劇、パネルシアター等)
 - 2月28日(土) }
 - 3月27日(土) }

・このほか、毎月読書会(第2木曜日)を開催
子ども会向けのおたのしみ会も、定例(月・水 第2・3土曜日)で開催

*大阪市内在住・在勤・在学の方で、初級編受講者等、古文書を読んだことがある方を対象 定員30名(多数抽選)
往復はがきに住所、氏名、電話番号、年齢を記入の上、大阪市立中央図書館利用サービス課大阪コーナー古文書講座係まで
締め切り：10月25日 当日消印有効 お問い合わせ：利用サービス課 06-6539-3302

・地域図書館

- 10月25日(土)～11月16日(日) 第6回図書館フェスティバル
- 市内23館の地域図書館でも、毎月さまざまなイベントを開催しています。
※詳しくは、各館の図書館報やお知らせをご覧ください。

■お知らせコーナー

◆蔵書点検のための休館(地域図書館)

市立図書館では、年に1回、所蔵図書个点検するため、1週間程度休館させていただきます。各図書館で休館日が異なりますのでご注意ください。期間中、ご不便をおかけしますがよろしくご協力お願いいたします。

休館日	地域図書館名
平成15年9月22日(月)～10月20日(月)	北図書館(空調設備工事を含む)
平成15年9月29日(月)～10月6日(月)	天王寺・生野・住之江の各図書館
平成15年10月13日(月)～10月20日(月)	東淀川・東成・平野・西成の各図書館

